



令和5年11月1日
目黒区立第二上目黒保育園長

指折り数えたその日は、10月にしては暑いくらいの好天に恵まれました。4・5歳児クラスがバスに乗って芋掘り遠足に出掛け、自然体験をしてきた日のことです。畝(うね)をまたいで芋畑に入ると、それだけで日常ではあまり経験することがないような土の感触です。掘り進めていくとさつま芋が顔を出すけれど、簡単に引き抜けそうにありません。今年のさつま芋は小ぶりですが、大人が掘ってもまだかまだかと思うくらい地中深く根を張っていました。

4歳児は「先生てつだって〜」「もう(深くて)掘れないよ」と苦戦気味です。気持ちりが競って無理に引き抜こうとすることで芋が折れてしまう場面もありました。自然相手は時に根気と忍耐を要し、子どもたちの葛藤が続きます。それでも、芋の横に両手で円を描くといいよと知らせながら一緒に掘り進め、見事に掘ることが出来ると「やったあ、先生見て〜」と芋を高々と掲げていました。“自分の力で掘れそうだ”と自信が持てるようになると、なかなか掘れない芋を前にしても「世界一大きなお芋かも知れない」「バスにのるかなあ」と受け止め方もポジティブです。「こっちにもある」と誰かが言えば「手伝うよ」と自然に手が伸びて、芋畑に入った直後より表情が格段に頼もしくなっていました。

“楽しい”と感じる気持ちも“自分で出来そう”と奮い立つ勇気も、子どもたちの内面から湧き出るものであってほしいと願っています。子どもたちが保育士の見守りの元で様々な経験を積み重ね、不安は軽減し喜びは何倍にもなるような心強い存在であり続けるために『子どもに寄り添う』という言葉の意味と重さを職員一人ひとりが改めて考える取り組みをしていきます。

クイズや歌で盛り上がり、興奮冷めやらぬ行きの中とは対照的に、帰りの車内ではお昼寝です。しばし静寂が続く中、たくさんのさつま芋と一緒に無事帰園しました。



内科検診 (全園児)
歯科検診 (全園児)

中旬 身体計測 避難訓練



新しい乳児医療証の
コピーをお持ちください。

強い味方との協力タイム

～用務～

保育園生活の中で様々な職員との関わりを深めながら『自分たちの行動が誰かの役に立つ喜びを感じられるように』という5歳児クラスの保育のねらいもあり、当番活動にホールでのコット敷きが加わりました。欠席の友達に代わって何往復も運ぶ子や、名前が見えてコットが探しやすいようにタオルを広げてくれる子など、みんなが気持ち良く過ごすにはどうしたら良いか自ら考え、気付いて行動しています。コットの位置や休みの友達のことは子どもたちの方が詳しく、周りに関心を向けているからこそだと感じます。コット敷きを張り切り、日に日に上手になっていく子どもたちから、毎日元気と笑顔をもらっています。

今日も新しい発見だ

～楽しい散歩～



0歳児クラス（つぼみ組）

進級当初は、ゴザの上で腹ばいになったり座位で遊んだりすることが多かった子どもたちも、今では動くことが楽しくて仕方ない様子です。尻もちを何度もつきながらもすぐに立ち上がり、止まることなく歩き回っています。草花を目指して這い這いしたり、秋の風に吹かれて気持ち良さそうにしています。

シャボン玉で遊んだ時の事です。芝生に手を着くことが苦手だった子が、シャボン玉を追いかけてよとしてはハッと手を引っ込めることを繰り返していました。芝生に触れる抵抗感はあるけれど、シャボン玉を追って動きたいという気持ちが伝わってくる姿でした。やがて、大きなシャボン玉が目の前を通り過ぎると、興味が勝って這い這いで追いかけることが出来ました。その後は、皆と一緒に気持ちのままに動いて興味ある物に触れています。

心も体もグンと成長している子どもたちと、体を動かす心地良さや探索の楽しさを一緒に感じていきます。



1歳児クラス（ちゅうりっぷ組）

散歩が大好きで、サークル車に乗るだけで嬉しくてたまらない子どもたちです。動物のモニュメントに「おはよう」と声をかけたり「ごみ収集車 いっぱい いるよ」「なんでいっぱい クレーン車がいるの」と発見し、伝えることに忙しい散歩道です。中目黒公園の芝生広場にトンボが飛んでいたもので、虫好きの子どもたちに秋の虫の到来を知らせたくて「トンボだよ。ほら」と飛んでいる方向を指さして伝えてみます。子どもたちが目で追うことは大変ですが、生き物のリアルな動きに目を凝らして見る良い機会だと思いました。しばらくすると、ある子が「きた、きたよ」と柵のロープに一匹とまっていることを教えてくれました。「トンボが来たね。そ〜と そ〜と」と一緒に近づいてみましたが、飛んでいってしまうと「いっちゃったね」と残念そうな表情です。

たどたどしいけれど、おしゃべりも上手になってきました。見た事、感じた事を伝える喜びで心が満たされるよう、子どもたちの言葉を丁寧に受け止め、やり取りしながら散歩を楽しみます。



2歳児クラス（たんぽぽ組）

消防署と駅前を通る散歩は、子どもたちのお気に入りコースの一つです。「消防署に行こう」と声をかけると「消防車いるか見に行かなくちゃ」と張り切って友達と手をつなぎ、準備万端です。「手をつながないと あぶないんだよね」「車 きてないかな」と子どもたち同士で確認する姿もあり、目的地まで安全に歩こうという意識が少しずつ身につけてきています。消防署では消防車のライトが光る様子を見せてもらい、サイレンを鳴らしてもらう特別待遇の他、消防士さんに強くなる秘訣を聞いたりしています。消防士さんに向ける眼差しは憧れそのもので、帰園するとさっそく消防車を作り、消防士ごっこが始まります。散歩で見たもの、経験した事など、友達と共通のイメージを再現して楽しんでいます。「野菜も食べて消防士さんみたいになる」と、熱い思いは食事に対する意欲にも変化をもたらしています。

近隣以外に中目黒公園や世田谷公園にも足を延ばし、友達と一緒に自然物や生活に関わる人など、様々な出会いを楽しみます。

